

平成 年度学校環境衛生検査報告書(前期:7月~9月)

学校名	学校		学校薬剤師氏名	印
1か所目	検査日時	平成 年 月 日() 時 分	天気	
	測定場所	階 教室名()	在室人数	名
(1)二酸化炭素: ppm				
(2)室内温度: °C 室外温度: °C				
(3)室内湿度: % 室外湿度: %				
(4)浮遊粉じん ※: mg/m ³ (エアコン使用時)				
(5)気流: m/秒 (エアコン使用時が望ましい)				
(6)ホルムアルデヒド: ppm				
測定時の空調: 有 無 (該当に○) 空調設置時期: 平成 年 月~				
空調の種類: エアコン その他				

↓1ヶ所目とは階の異なる教室を測定

2か所目	検査日時	平成 年 月 日() 時 分	天気	
	測定場所	階 教室名()	在室人数	名
(1)二酸化炭素: ppm				
(2)室内温度: °C 室外温度: °C				
(3)室内湿度: % 室外湿度: %				
(4)浮遊粉じん ※: mg/m ³ (エアコン使用時)				
(5)気流: m/秒 (エアコン使用時が望ましい)				
(6)ホルムアルデヒド: ppm				
測定時の空調: 有 無 (該当に○) 空調設置時期: 平成 年 月~				
空調の種類: エアコン その他				

- (1)換気 二酸化炭素は、1500ppm以下であることが望ましい
(2)温度 17℃以上 28℃以下であることが望ましい
(3)湿度 30%以上、80%以下であることが望ましい
(4)浮遊粉じん ※ 0.10mg/m³以下であること →検査結果が著しく基準値を下回る場合(0.05mg/m³以下)には、以後教室などの環境に変化が認められない限り、次回からの検査を省略することができる。
(5)気流 0.5m/秒以下であることが望ましい
(6)ホルムアルデヒド 0.08 ppm(100μg/m³)以下
→30分間換気後5時間以上密閉した状態で測定(前日に換気を依頼するなどに対応してください)

指導助言

平成 年度学校環境衛生検査報告書(後期:12月~2月)

学校名				学校薬剤師氏名	印
1か所目	検査日時	平成 年 月 日() 時 分	天気		
	測定場所	階 教室名()		在室人数	名
(1)二酸化炭素:		ppm			
(2)室内温度:		℃	室外温度:	℃	
(3)室内湿度:		%	室外湿度:	%	
(4)浮遊粉じん ※:		mg/m ³ (エアコン使用時)			
(5)気流:		m/秒 (エアコン使用時)			
(6)一酸化炭素:		ppm (燃焼器具使用教室)			
(7)二酸化窒素:		ppm (燃焼器具使用教室)			
測定時の空調:		有 無 (該当に○)	空調設置時期:平成 年 月~		
空調の種類:エアコン 石油ストーブ ガス暖房機 石油ファンヒーター(室外排気・室内排気) その他					

↓1ヶ所目とは階の異なる教室を測定

2か所目	検査日時	平成 年 月 日() 時 分	天気		
	測定場所	階 教室名()		在室人数	名
(1)二酸化炭素:		ppm			
(2)室内温度:		℃	室外温度:	℃	
(3)室内湿度:		%	室外湿度:	%	
(4)浮遊粉じん ※:		mg/m ³ (エアコン使用時)			
(5)気流:		m/秒 (エアコン使用時)			
(6)一酸化炭素:		ppm (燃焼器具使用教室)			
(7)二酸化窒素:		ppm (燃焼器具使用教室)			
測定時の空調:		有 無 (該当に○)	空調設置時期:平成 年 月~		
空調の種類:エアコン 石油ストーブ ガス暖房機 石油ファンヒーター(室外排気・室内排気) その他					

- | | |
|------------|--|
| (1)換気 | 二酸化炭素は、1500ppm以下であることが望ましい。 |
| (2)温度 | 17℃以上 28℃以下であることが望ましい。 |
| (3)湿度 | 30%以上、80%以下であることが望ましい。 |
| (4)浮遊粉じん ※ | 0.10mg/m ³ 以下であること →検査結果が著しく基準値を下回る場合(0.05mg/m ³ 以下)には、以後教室などの環境に変化が認められない限り、次回からの検査を省略することができる。 |
| (5)気流 | 0.5m/秒以下であることが望ましい。 |
| (6)一酸化炭素 | 10ppm以下であること。(燃焼器具使用教室) |
| (7)二酸化窒素 | 0.06ppm以下であることが望ましい。(燃焼器具使用教室) |

指導助言